



## 足寄の天然記念物

# 玄能石とシオワッカ

## - 炭酸カルシウムのふしぎ -

### あしよる自然教室参加者募集

カルシウムは自然界にたくさんあるミネラルです。生物は、カルシウムを主な材料にして骨や貝殻などをつくり、身体を支えたり守ったりする骨格にしました。生物以外にも、岩石の中の結晶や鍾乳石などたくさんの**炭酸カルシウム鉱物（石灰）**ができます。コンクリートの材料であるセメントも石灰岩からつくります。

地層の中では、ハンマーの頭のような形をした**玄能石**ができることがあります。海底にたまった泥がかたまった泥岩の中にできます。地層から取り出した玄能石は、炭酸カルシウムの安定した結晶である方解石（ほうかいせき）でできていますが、その変わった形はもともとイカアイトという鉱物として形成したと考えられています。

**イカアイト**といえば、足寄町の文化財（天然記念物）に指定されている**シオワッカ**の石灰華において、世界で2番目に陸上で生成が確認された鉱物です。私たちに身近なカルシウム炭酸ですが、自然のなかでさまざまな不思議な現象をみせてくれます。カルシウム鉱物は、化石を含む団塊 = ノジュールの形成ともふかい関係があります。

炭酸カルシウム鉱物のふしぎに迫る自然教室を企画しました。



シオワッカ：4種の炭酸カルシウム鉱物が生成  
世界でここだけ

日時 10月30日（日）  
場所 浦幌町留真・町内螺湾シオワッカ  
申込 足寄動物化石博物館  
期限 10月20日までに

詳しい日程・集合場所などは申込者に  
直接お知らせします



浦幌町留真付近にみられる玄能石  
全長8cm

## 学校の利用

### 馬の骨格組み立て 仙美里中学校職業体験



できあがった  
ウマ「復元」  
骨格と仙美里  
中学校2年生  
9名

仙美里中学校の2年生がウマの骨格を組み立てました。当館が骨格標本作製のために埋めていたものを、昨年、全校生徒が参加して「発掘」した標本です。

本別町仙美里地区は、終戦まで軍馬補充部があり、馬に関係が深いことから、さらに発展させ、博物館での職業体験として全身の骨格を組み立てることになりました。

総合学習の時間をあて、4回のべ10時間かけて、「手足」の関節をつなげたり、肋骨をしばりつけたりして、全身の「復元」をおこないました。

成果は10月の同校文化祭で公開されます。

## 化石工房 フォストリー

### ハクジラ化石の レプリカ作製

足寄のクジラ化石の研究はヒゲクジラが先行しており、展示室でも「歯のあるヒゲクジラ」に重点をおいています。

遅れていたハクジラも、足寄独特のもの、世界共通のものなど、種類の特長も徐々に進んできました。近々、足寄のクジラ化石の全体像を公開する計画です。

その準備として、化石工房では、ハクジラ化石のレプリカを作製中です。



ハクジラ化石（頭骨）：実物とレプリカ2組

休館日 || 10月 4日、11日、18日、25日

博物館の動き 10月（館の行事や職員の動き、来館団体の一部、など）

10月

- |         |                     |     |                    |
|---------|---------------------|-----|--------------------|
| 9日      | 帯広柏葉高校<br>北見北斗高校    | 23日 | 帯広百年記念館            |
| 13日     | 管内高校新任者研修           | 30日 | あしよろ自然教室（シオワッカ・ほか） |
| 17日・19日 | 足寄中学校インターンシップ       |     |                    |
| 18～     | 道東3管内博物館交流会議        |     |                    |
| 19日     | 羅臼町（澤村「足寄のクジラ化石」報告） |     |                    |